

延岡消防団の初行事、出初式が平成18年1月8日(日)亀井橋下の五ヶ瀬川河川敷で開催されます。出初式は、消防が組織化されて明治時代からあっているもので

公開初、みんなで見に行きませんか

消防出初式に畳堤 全市の消防6団、畳を差し込む

年の初めに開催されている消防団の伝統行事。毎年趣向を凝らした内容が盛り込まれるが、今年は「畳堤」ゲームが組み込まれている。畳堤の実演、公開初ということになります。予定では全市消防団6団が6チームに分かれて畳を運んで、畳堤へはめ込みタイムを競い



第6号

発行 五ヶ瀬川の畳堤を守る会
編集 西本師子
住所 延岡市北町1-14
電話 0982-32-2226
FAX-0982-32-2229



(雨天中止)

点検開始	8時35分
一斉放水	9時45分
畳堤説明	9時50分
畳堤展示	9時55分
分列行進	10時30分

ます。畳堤は、北町北の、畳堤モニュメントが建っているところ。堤防上に並んだ畳堤。6枚の江戸間様式の畳は五ヶ瀬川の畳堤を守る会が保存しているものを使用します。また、その周辺の畳堤にも畳を入れるため20枚の畳みを五ヶ瀬川の畳堤を守る会で準備中。市内の畳専門店の協力をお願いしています。この日のプログラムは次の通りです。会員の皆様も、寒さに負けず、見学しましょう。開会 8時・30

一木一草

消防出初式。古きよき時代を思わせる催しのことなど消防、災害の記録を西村祝一氏(故)が本にまとめている。それによると昔は少年が15才になると地域の消防組に入る事が決まりで、35歳までとこれも決っていた。そうしないと一人前の男と認めてもらえなかったそう。各町に団があり、何かといえば競い合いハッピーのデザイン一つも、それぞれ工夫を凝らした。威勢がよく、他の地区に意地でも負けない、という元氣も1のばかり。エピソードが多い。戦争時、消防団は警防団と名を変え、次第に昔の形態は消え、今は入団者が少なく、誘っても、まず、親が「うちの子は誘わないで」と断わるのだそう。複雑な思いから入っている若い人を見ると、誰もが実にはつらつとしていて。自分達がやるべきことの意識を高くもっているからだろう。今年の出初式、ぜひ大勢で応援しよう。

西本記

紙芝居「畳で街を守ったおはなし」

ユニークな取り組み色々

あなたもお申し込み下さい

畳堤が中学校のお芝居 になった

延岡市立南方中学校（井上博文校長 71人）の秋の文化発表会が11月13日、同学校講堂で行なわれました。テーマは「絆（きずな）思い、みんなのふるさと、愛しき文化、未来へつなぐ僕らの思い」。数数の生徒たちの

出し物のなかで、みんなの興味を引いたのが、三年生の劇「畳堤」。これは五ヶ瀬川の畳堤を守る会と国土交通省が作った紙芝居「畳でまちを守ったおはなし」（現作 西本）をもとに、生徒が脚本を書いて上演したもの。デイリー新聞に掲載されました。



南方中学校3年生の劇

延岡商工会議所女性部30周年記念式典
アトラクションで
それぞれ声の出演

平成17年9月13日、ホテルメリージュで開催されたもので、式典のあとに講演会とつづき、第3部の記念祝賀会のアトラクションで披露されたもの。これまでの紙芝居形式に、出演者を加え、紙芝居に出て来る主役のヒロシ君、おじいさん、おかあさんや、おとうさん、町の消防団、区長さんを、一人3役に分けて声だけの出演。また、音響効果も、あらしの雰囲気を出すために使われました。会場が、広いためプロジェクターで、正面中央のスクリーンに絵を写し出し「わかりやすい」「みんな上手だった」と皆さんから好評をいただきました。

声の出演は女性会のみなさん。熱演に大きな拍手がわきました。

語り部の会「萌ぎ」子ども達に畳堤伝える

語り部の会「萌ぎ」では、子ども達を対象に、ふるさとに伝わる昔話の会を開いています。9月は、カルチャープラザで行なわれ「畳堤」が披露され、子ども達がお母さんと、やつてきました。この日は、紙芝居の昔ながらの雰囲気を出そうと、棒つきの飴がくばられ、皆は飴をなめなめ、紙芝居を見ました。

紙芝居申し込みについて
区単位、学校、防災関係、個人単位での申し込みを受け付けています。

希望者は、五ヶ瀬川の畳堤を守る会で貸与規定が出来ていきますので申し出ください。語り部は、今のところ西本が致します。

◆連絡 通省延岡河川国道事務所 国土交通省

0982(31) 1155

◆五ヶ瀬川の畳堤を守る会
0982(32) 2226

西本まで

台風14号と畳堤 写真からの検証

下の写真(上)は、台風14号の最中。水位が上がったために、畳堤の間から水が町に流れて出て台風のなまなまさが伝わる一枚です。

平成17年9月6日、こくくと変る台風情報に、何か不吉な予感を覚えた人も多かったはず。前日の午後5時半ころには、市から市内の全区長に、避難準備が知らされ、また「対策本部から「避難勧告」が区長に出のは午前3時ころ。避難指示は、翌朝の6日、午前8時半ころ。区長から知らせを受けて組長が各所帯へ連絡。大変な時間を過ぎて一夜が明けたのです。

五ヶ瀬川の市街地、左岸の川の水が堤防を越え始めたのは、いつごろだったでしょうか。水は、堤防上の畳堤のすき間

をどんどん越えて、町中へと流れ込んでいきました。古川をはじめ、五ヶ瀬川の上流に多大な被害をもたらしたのです。この時、これ以上、水が外に流れ出ないように土嚢が積まれたのです。

歴史の証人として、私たちは郷土に超大な台風があった日に遭遇したのです。

このほど、五ヶ瀬川水害に対し、国の激甚災害特別緊急事業が採択されました。

私たちは、郷土を守るための、ネットワークが必要な時、五ヶ瀬川の畳堤を守る会でも、新しい取り組みを思索しています。

元ダイエー横台風14号

市提供



ホテル・プリンス横
台風の後で撮影



がんばれ高千穂線
TRを応援しましょう

「赤字で存続が危ない」。この高千穂線のニュースが伝わったのは、まだ、台風14号襲来の前でした。会長の西本は、8月20日付け宮崎日日新聞、読者投稿のページ「声」の欄に「民族遺産を遺そう」という意味の投稿をしました。それから直ぐにやって来た台風14号。立ち直れない鉄橋や路線の破壊。打撃を受けま

板田橋下流左岸
台風の後で撮影



した。それでも、幸町の虎屋(上田耕市社長 会員)では、ギヤラリーを貸しきって月一回、「頑張れ高千穂線」と題した小さなライブを開催し、TRを守るためのパフォーマンスをくりひろげています。

天孫降臨の地、神話のふるさとへ、とことこと走っていた高千穂線。私たち県北の誇りとして、残していくべきでは。五ヶ瀬川の畳堤を守る会でも、TR存続を訴えていきたいと思っています。

川の越水防ぐため スクラム組み畳を支える

昔の人の智慧として、1985年発行の「水害」(宮村忠著・中央新書)に、「水害と氾濫」と題した畳の話が掲載されています。第一章「治水のフオークロー」から、参考になる部分を紹介します。

高温多湿の日本風土の中で、特長ある用具の一つに「畳」があります。新潟県の北を流れる加治川は、昭和41年、42年に同じ地点で連続破堤し、深刻な水害が起っています。この加治川は、新発田(しばた)市東方市で姫田川、坂井川に合流します。雨の降り方によつて、本流の出水が大きいときは、本流の水が支流に逆流し、坂井川の流れが大きくなります。合流地点から坂井川の2キロメートル上流に、切という集落があります。この切地点から単独で西北に流れ、紫雲寺潟という湖沼に流れています。

ところが享保年間(1716から36)幕府の指示で紫雲寺潟が開拓されることになりました。この時から、坂井川は、ここ切に堤防を築いて締め切り、流れを変えて加治川に合流させたのです。その後、切はたびたび氾濫、破堤する所となりました。しかも、ここが破堤すると広大な開拓地が氾濫することになりました。いわば氾濫の急所というわけでした。しかし、たびたび水害に遭っている切、一帯の人々は水防活動には積極的で、いつも方法に頭をひねつてきたのです。水位が上昇し、堤防を越流しそうな状況になると、畳が持ち出されます。堤防の上に畳を横に立て、並べて、裏に土嚢を積んだり、あるいは畳の後ろで人がスクラムを組んで畳の堤防を築きました。

この畳の堤を築くコツは、畳と畳の間を置くこと。くつつけると破壊しやすくなりま

す。間隔の開け方にも、洪水状態で工夫があり、坂井川の洪水だけのときは、間隔を広く取り、流れが激しく短時間の時の対処としたのです。また、加治川本流や姫田川の洪水が逆流するときは反対に間隔を狭くしておきます。具体的な間隔のことは経験者から伝授されたことにもとづき決めました。

冒頭の氾濫のため昭和46年、若手の研究者が新潟平野の河川調査をして、昔の畳の智慧を古老から聞いて分つたもの

雑感 これは記録として残されているもので、他にも興味深い「畳」と水害の記録があります。

延岡のように形はなく特殊堤防「畳堤」とは形体は違いますが、目的は同じです。家からその時々運び出されていたようです。形が無かったため古老の話が唯一の手がかりとなったのです。

それにしても畳の有効利用は、江戸時代から知られていたことになりました。(続)

会員の皆様へ

「空飛ぶ畳」第6号をお届けいたします。本年度は企画が全てキャンセルになり、大変御迷惑をかけています。紙面をもちましてお詫び申し上げます。

また、「空飛ぶ畳」畳堤便りの発行が遅くなりました。台風14号でかなり予定が狂っていますが、これにめげず五ヶ瀬川の畳堤を守る会は、さらに進化していく所存です。どうぞ、これからもよろしくお願い致します。

五ヶ瀬川の畳堤を守る会 西本師子